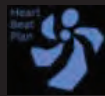


ウォークブルエリアの創造と 新たなまちづくりプロセス

泉 英明



有限会社ハートビートプラン



まち医者としての都市プランナー

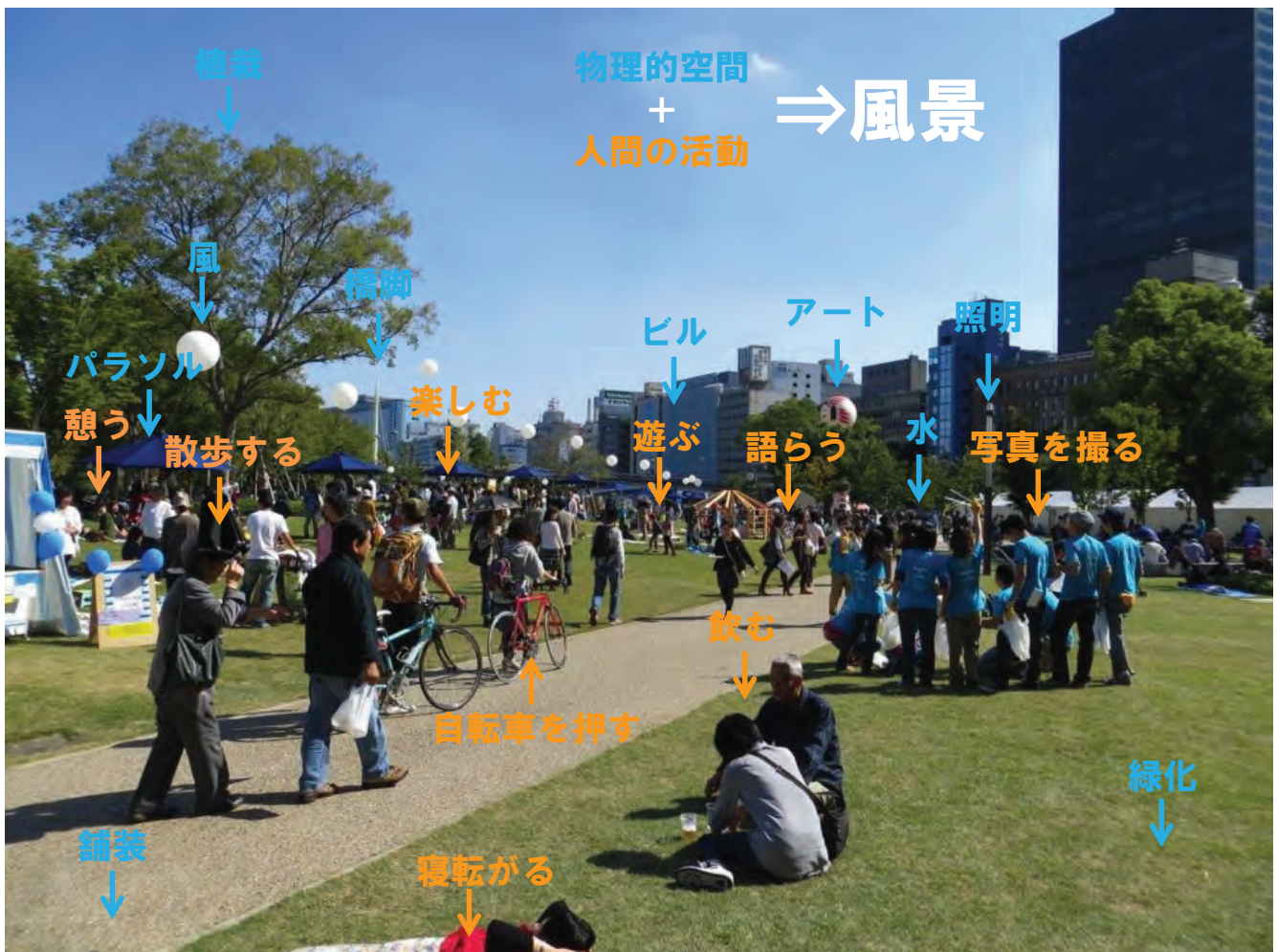
- 地域住民の身近にいる
- 様々な健康問題に対応する（専門医でなく内科）
- 普段から継続的に話をし、予防やリハビリも行う
- 処方箋を出し、必要な専門性との橋渡しを行う
- ビジョンから事業化～運営まで一貫通貫の関わり

都市の魅力⇒風景

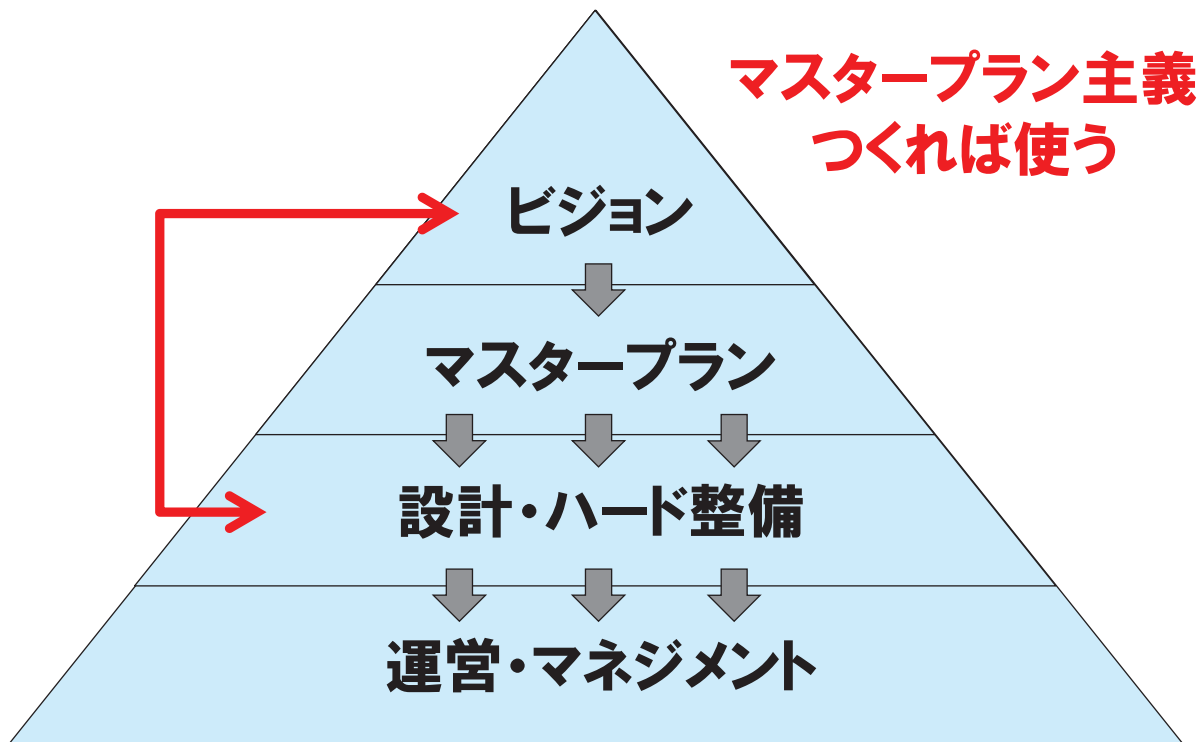
物理的空間+人間の活動

つくる

つかう

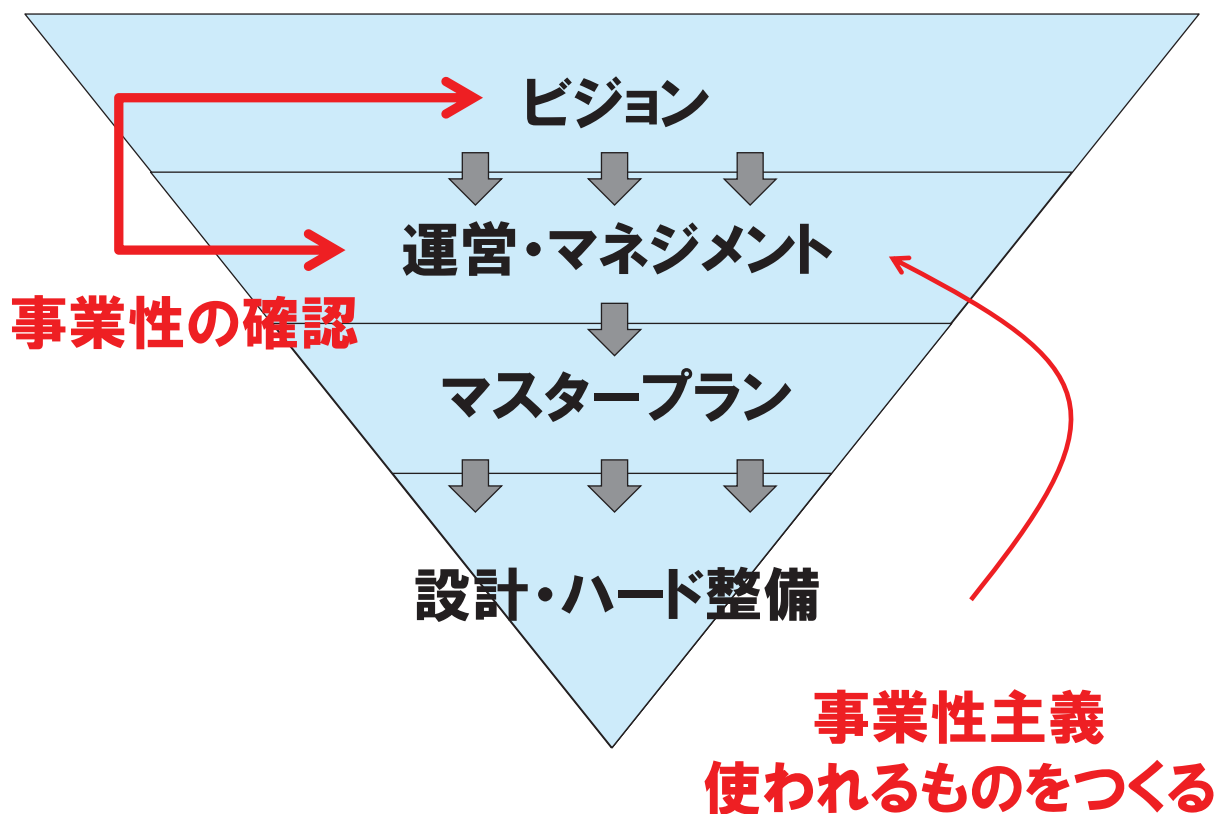


従来のプロセス ⇒つくる目線



使われない、持続運営できないハードが増えている...

今後のプロセス ⇒つかう目線



あそべる とよた プロジェクト

豊田市都心環境計画事業推進・あそべるとよたプロジェクト



6 将来の姿の実現に向けた施策の展開





とよたのまちなかを本気であそぶ、使いこなす！
誰かにつくってもらうのではなく、自分たちで“つくる”

つくり手が考えていたまちのつくり方を、
つかい手が考える都市のつくり方に変えよう！



- ・一過性のイベントではなく、日常の風景として継続できる仕組みを構築。
- ・とよたの魅力・チカラを最大限に引き出す、まちを使いこなし、豊田に愛着を持てる、チャレンジしたくなる環境をつくることを目標。

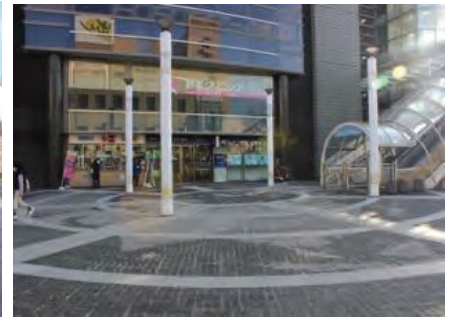
既存の空間をまず使いこなす！ まちなかの広場候補地

■官・民の9つのまちなかの広場



	広場名	管理者
官	①新豊田駅前広場	土木管理課
民	②シティプラザ	豊田まちづくり(株)
官	③ペDESTリアンデッキ広場	都市整備課
官	④豊田市駅西口デッキ下	土木管理課
民	⑤ギャザ南広場	豊田市駅東開発(株)

	広場名	管理者
民	⑥参合館前広場	豊田市駅前開発(株)
民	⑦コモ・スクエアイベント広場	豊田市駅前通り南開発(株)
官	⑧喜多町3丁目ポケットパーク	都市整備課
官	⑨桜城址公園	公園課



まちのスキマ空間
使われていない空間

①新豊田駅前広場



1. Fmx Air Jack Bar



2. バランス・スポーツを体験しよう！



3. とよたスケートパーク



4. 根羽村の木の遊具で遊ぼう！



5. 木のおもちゃと工作



6. 体感せよ！！ボランティア



7. 鹿の角のアクセサリー販売



8. 矢作川水族館



9. ふれ愛動物園！？



10. Tシャツの森



11. V Rローラーコースター



12. 歩行発電を体験しよう！



13. TOYOTA DECK CAFE & BREW BAR



14. 朝コガでメンタルヘルス♪



15. 歌って踊る歌謡フラジ



16. LENDASTリートフェスティバル



17. TOYOTA PUNK CARNIVAL



18. 街中プラネタリウム



19. 豊田の根っ子を伸ばす体操教室



20. 貴方は右脳派？左脳派？



21. ジャグリングワークショップ



22. Oidentityって何だろう？



23. BookBOOKこんには



24. 彩花亭の地産地消弁当



25. 気軽に立ち寄れる屋外BAR



26. ライブ&カフェ モカモカ



27. オープンミライカフェ



28. メキシコ料理ロシータ

⑦コモ・スクエアイベント広場



30. スカパー！ Presents 名古屋グランパス vs サガン鳥栖線パブリックビューイング



31. ファンフ食堂y's

⑧喜多町三丁目ポケットパーク

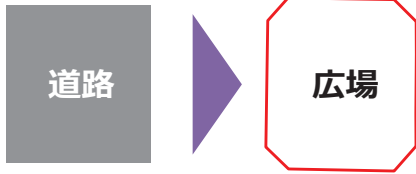
あそべるとよたDAYS

8つの広場で31のプログラムが実施！

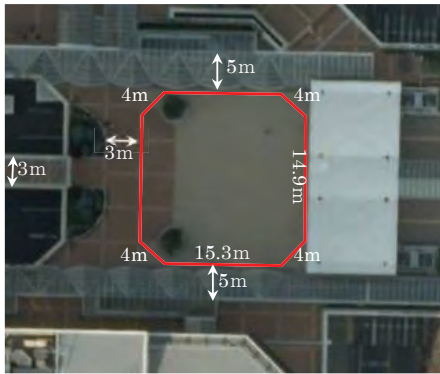
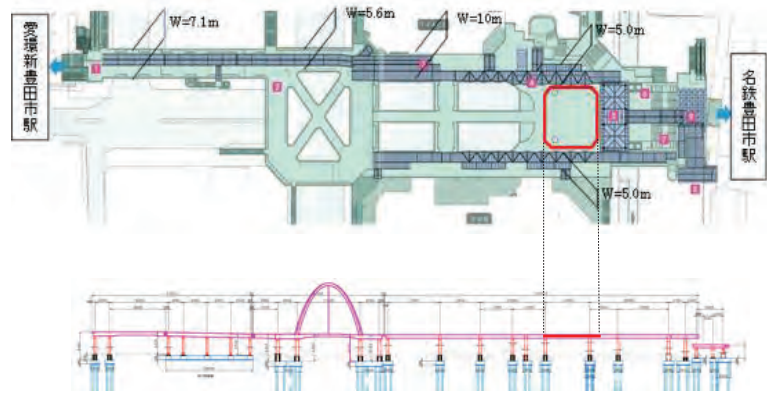
ペDESTリアンデッキの一部を道路区域除外

年間を通してイベント等が数多く開催されているが、道路空間を目的外に使用するための手続等が煩雑であるため、イベント等の担い手側への負担が課題。

そこで、まちなかの憩いや活性化を目的として、道路区域から除外することでイベント等を興しやすい環境整備。



名称：ペDESTリアンデッキ
広場面積：約400㎡
供用開始：平成27年9月



After



After



After



社会実験での裏成果



豊田市メンバー（愛のある公務員）



プレーヤーメンバー（新しい使いこなしをチャレンジする）



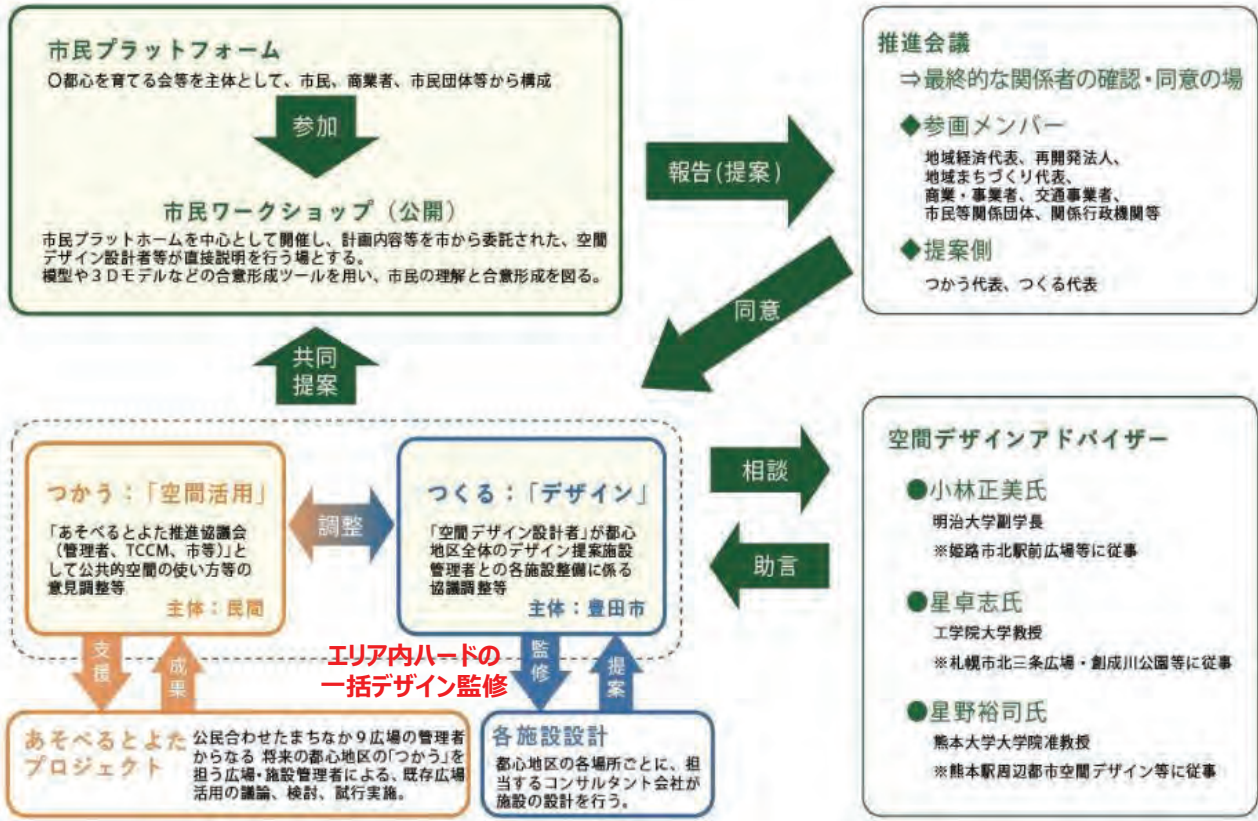
あそべるとよた推進協議会メンバー（自ら管理する空間をひらく）



ペDESTリアンデッキ運営メンバー（多様な人が交わる居場所をつくる）



プロジェクトの推進体制

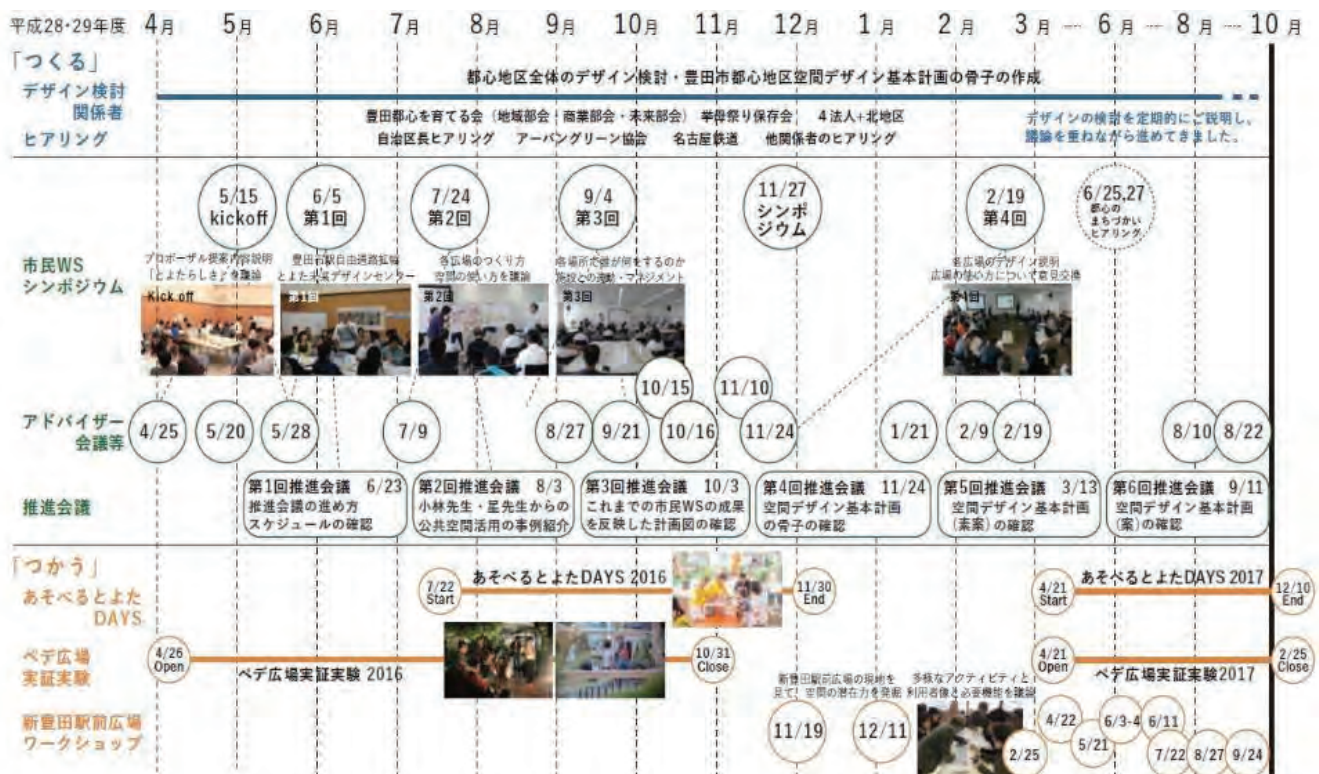


新たな「つくる」「つかう」の推進体制





つかう⇔つくる の両輪で



全体の計画に位置付け

※各広場でつかう⇔つくる「特徴・活用・空間イメージ・今後の動き」

ゾーン A 新豊田駅前東口広場

新豊田駅前東口広場は、他の広場では実施しにくいものも含めた目的性の高いコンテンツを軸とした活用を目指します。ストリートスポーツやアウトドア等のアクティブなコンテンツが展開されるとともに、親子連れやシルバー世代がそうした風景を眺めながら日常的にくつろげるシーンを育んでいきます。

1 現状及び試行に基づく広場の特徴

○現状の新豊田駅前広場は、4面を道路に囲まれており人通りも多くなく、あまり利用されていませんでした。

○2015年度のあそべるとよたDAYSではスケートボードやスラックライン等のストリートスポーツ企画を実施し、若年層のプレイヤーから親子連れまで幅広い支持を得ました。



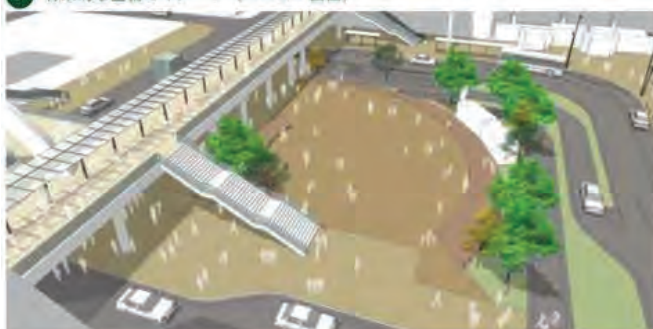
2 活用の方針

○目的性の高いコンテンツを軸とし、その利用者となる市民組織が運営する広場を目指します。

○今後は、実際に活用アイデアを持ち運営の将来の担い手となる市民の方々と、活用案を実現するための空間・設備と運営体制の構築を検討していきます。

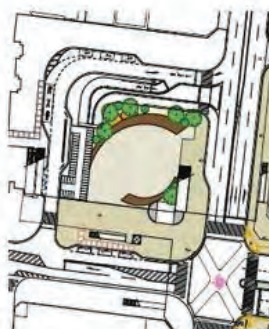
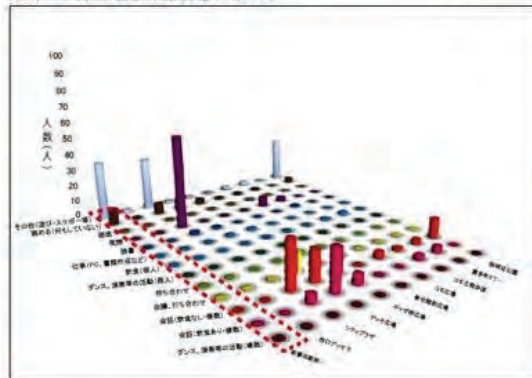


3 将来的な整備のイメージ (パース・図面)



4 プレイス調査の結果：試行期間中の秋・平日 (2016.10.26)

○普段はほぼ利用者がおらず、デッキを通る人々にもその存在をあまり認識されていない場所でしたが、実証実験によって目的性の高いコンテンツ（スケボー等のストリートスポーツ）がある場合に、それを目的とする人々の利用が増加しました。



5 直近3年間のスケジュール

- 2016年度 活用アイデアを持った市民の方々の活用検討WSを開始
- ▼
- 2017年度 活用検討WSの継続 / 試行の実施 / 詳細設計への反映
- ▼
- 2018年度 改修工事の実施 / 市民組織による運営体制構築の検討
- ▼
- 2019年度 工事終了・供用開始 / 市民組織による運営・活用開始

新豊田駅前広場



活用アイデア募集によるマーケティング

Fmx Air Jack Bar



バランス・スポーツを体験しよう！



バランス・スポーツを体験しよう！



とよたスケートパーク



ゴール設定

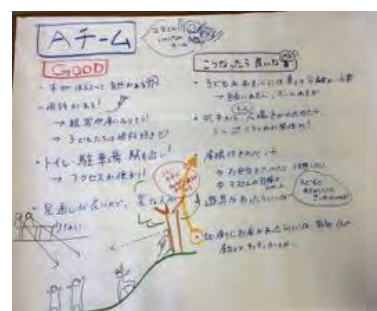
目的性の高い空間にリニューアルし、
テーマ・コミュニティによる利用を誘発する

コンテンツ・ホルダーと検討する

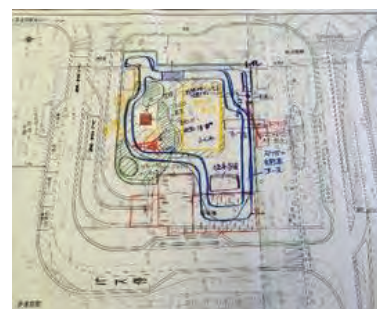
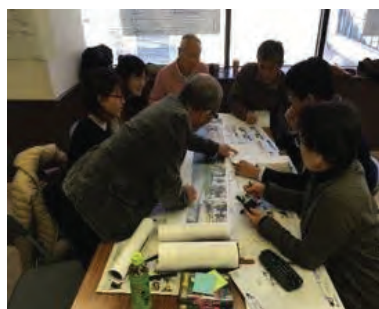


運営の担い手発掘育成型による広場デザイン

WS 1 : 現地を見学し、ポテンシャルを探る



WS 2 : 実際に活用するアイデアをだしあい、図面に落としてみる



新豊田駅前広場 2019.04完成！



「ルール」ではなく「自治」で運営する

この広場だからできることがあります。自由に楽しもう！



**ボール遊び
できます**

自由使用

コンクリートエリア
大人数やイベント時、
設置物を置く場合は
占有承認申請が必要です



**ストリート・スポーツ
できます**

自由使用

コンクリートエリア
大人数やイベント時、
設置物を置く場合は
占有承認申請が必要です



**火の使用
できます**

自由使用

築山・土エリア
大人数やイベント時、
設置物を置く場合は
占有承認申請が必要です



**音楽演奏
できます**

行為使用

全エリア
目的に応じて
行為使用の届出又は、
占有承認申請が必要です



**イベント
できます**

占有使用

全エリア
占有承認申請が必要です。
また内容によって
各種許認可が必要です。



**出店・販売
できます**

占有使用

全エリア
占有承認申請が必要です。
また内容によって
各種許認可が必要です。

ルールを守ろう！ 広場の自由な利用を維持するために！

自由と責任

広場を使う人、1人1人が自己責任で判断し、
周囲の理解・協力を得られるからこそ自由があります。

利用は譲り合い

自由使用では譲り合い、多様な人や活動が共存できる広場の環境
を守っていきましょう。

どんどん発信を

広場は、多様な人や活動があることで豊かになります。
ぜひ皆さんのお気に入りを発信してください。

ごみは持ち帰る

広場にはごみ箱がありません。
出したごみは各自で家まで持ち帰り、規則の通り処分してください。

タバコは吸わない

この広場は豊田市の路上喫煙禁止区域に指定されています。
タバコは喫煙所です！

音は控えめに

音の出る行為は7時～21時40分までです。
昼間も周りの迷惑にならない音量をご利用ください。

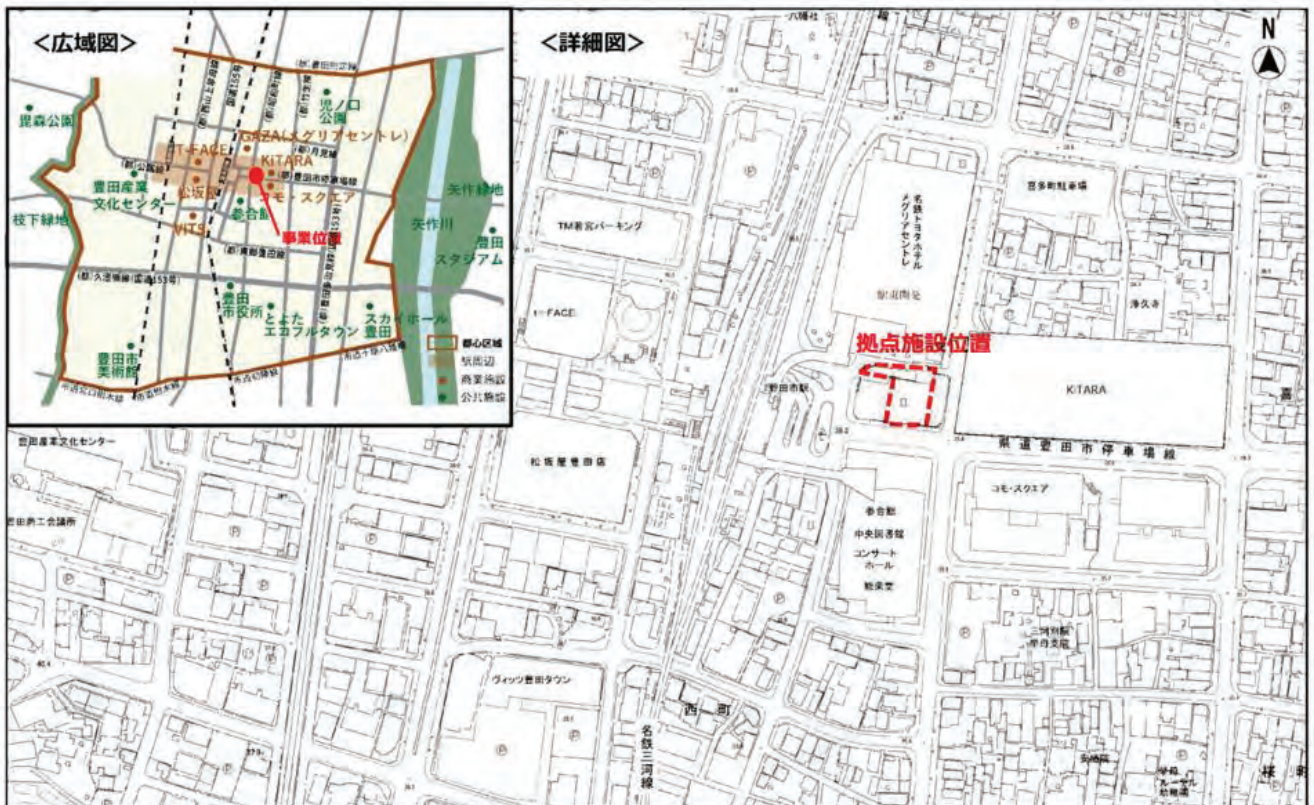
広場ではできないこと

- 【喫すこと・汚すこと】
焼酎・焼酎等の蒸気又は可燃物
【掃物等採取すること】
樹木の伐採、又は樹木の採取
【土地の形質を変更すること】
土地の盛土・切土により、
土地の形質を変更すること
【動物を捕まえること】
鳥獣等を捕獲、または飼養する
【危険を生じさせる行為をすること】
火災、爆発その他の危険を生ずる
おそれのある行為
【他人の迷惑になること】
騒音又は大声を發する、暴行をふるふ、
その他他人の迷惑になる行為
【ゴミを捨てること】
ごみ、その他汚物を投棄し、
又は悪臭を生ずる行為
- 【直火を起すこと】
地面で直火を使用すること
【許可なく物を置くこと】
許可なく、施設、物品等を設置し、又は設置する
【許可なく物を売ること】
許可なく物品その他の物を販売する、若しくは
販売させる、又は商品の寄附募集等の行為
【許可なく展示会等を行うこと】
許可なく、展示会、興行、競技会、その他これらに
類する行為
【許可なく宣伝をすること】
許可なく広告物又はこれに類する物を表示、
配布し、又は散布する
【市長に禁止されたこと】
以上の各項目に抵触するもののほか、
市長が広場の管理運営上特に必要があると
認め禁止する行為

豊田市駅東口まちなか広場



豊田市駅東口まちなか広場拠点施設



拠点施設の内容



- カフェ（集う）**
- ・広場の目印（待ち合わせや象徴）
 - ・利用者が滞留するための動機づけ（収益の一部を広場空間に再投資）



- アトリエ（生む）**
- ・ものづくりのシーンの見える化
 - ・市民の来街動機の増強
 - ・豊田ならではのシーンの創出



- ラボ（伝える）**
- ・まちの状況を可視化
 - ・市内の多様な政策や都市デザインの情報発信
 - ・シビックプライドを育てる拠点



- サロン（交わる）**
- ・市民や来街者の居場所
 - ・滞留行為の受け皿（カフェの屋内客席としての機能）
 - ・市民発の小企画実施スペース

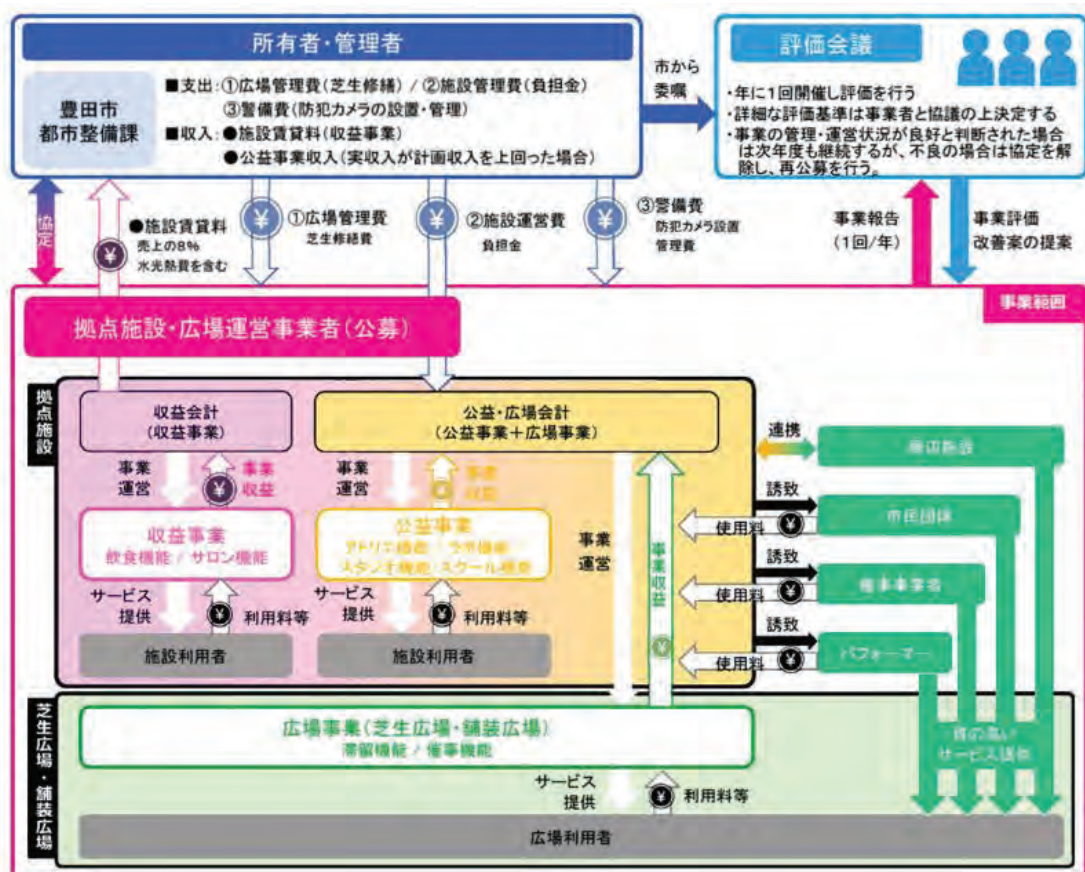


- スタジオ（表現する）**
- ・旬なローカル情報の発信
 - ・まちなかから、新しいものやこと、情報が発信されていることを見える化



- スクール（育てる）**
- ・まちづくりの担い手の育成
 - ・市民を「受動的な参加者」から、「能動的な担い手」へと育てていく

事業スキーム／事業者公募

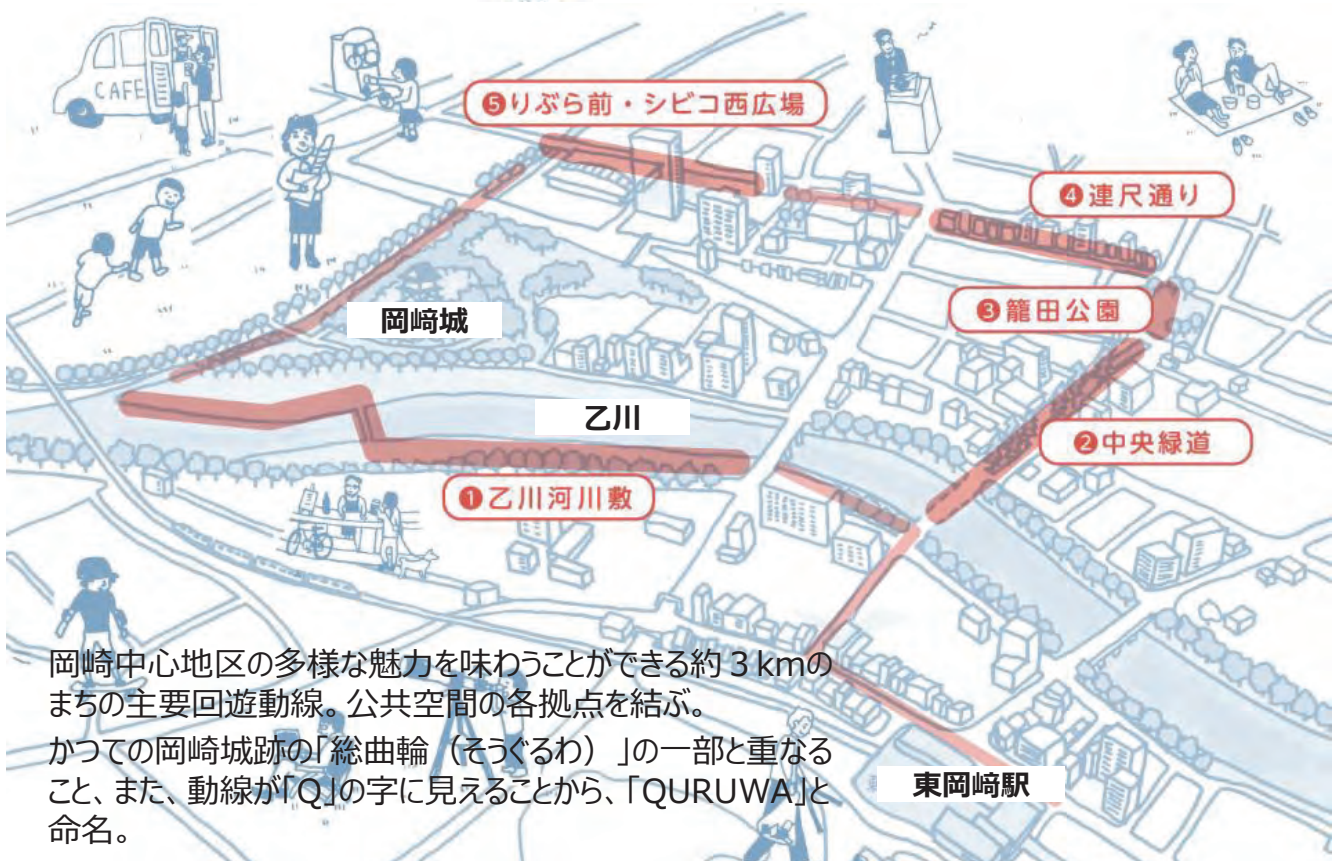




おとがわ プロジェクト



QURUWAとは？



太陽の城跡地活用にもなう歩行者空間化

QURUWAの拠点プロジェクトの1つとして、乙川河川敷に隣接する旧・太陽の城跡地を対象敷地とした事業者公募を実施する。 ※現在公募期間中

- 【公募事業】①コンベンション施設の整備を行う「岡崎市コンベンション施設整備事業」
②ホテル等事業を行う「ホテル等民間収益施設事業」
③乙川河川緑地の利活用等を行う「乙川河川緑地管理運営事業」



■ 敷地前道路



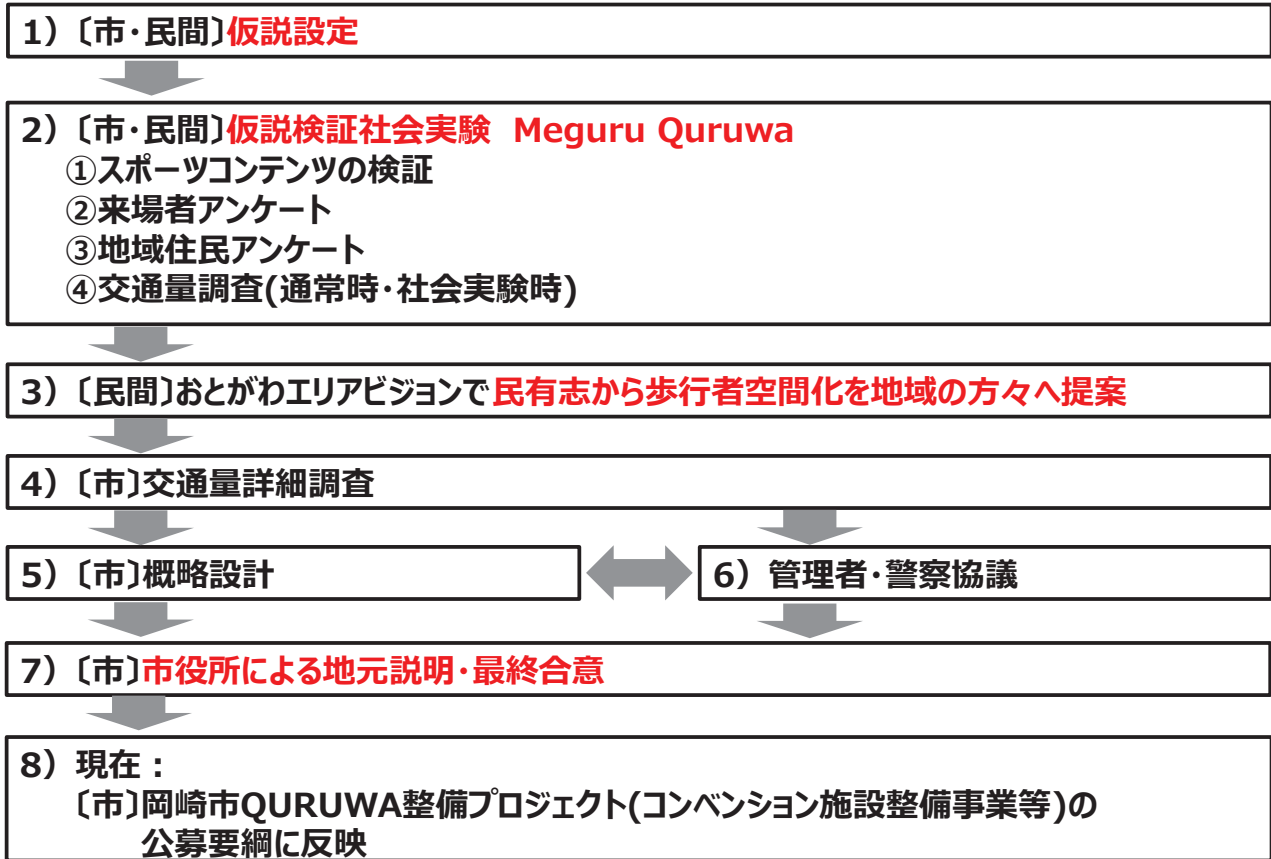
車道として利用されている敷地前道路を歩行者空間化し
建物と公共空間が一体 (拠点～歩行者道路～河川敷)となった
活用がされることにより、エリア価値を向上させる

エリアビジョンで提案した将来イメージ



▲ 歩行者空間化し、事業敷地～歩行者道路～河川敷が一体的に活用されている

検討プロセス：民間から地域へ提案



検討プロセス：民間から地域へ提案

■ 現況

- ・堤防道路は通過交通が占める比率が高い（交通量調査では86.7%）
- ・歩車分離がされていない上に、道幅が狭く危険である。
- ・歩行者通行量：360人（西→東 206人 東→西 154人）

1) 〔市・民間〕仮説設定
2) 〔市・民間〕仮説検証社会実験 Meguru Quruwa

- ・堤防道路を歩行者空間化することで、河川敷と連動した活用ができ、エリアの魅力が向上する。

▲ ①スポーツコンテンツの検証 ▲ 社会実験時の車両通行止めエリア
堤防道路（乙川左岸南側 殿橋から踏切手前まで）

3) 〔民間〕おとがわエリアビジョンで歩行者空間化を地域の方々へ提案

- ・太陽の城跡地に魅力的な施設が立地し、太陽の城跡地～堤防道路～河川敷を一体活用することでエリアの価値向上を目指す。
- ・周辺居住者の利便性を維持するために、歩行者空間化は太陽の城跡地のみとし、周辺居住者の交通アクセスを確保し、アクセスできない敷地はつくりたくない。
- ・通過交通を減らし、歩行者の安全性を確保することを目指す。

歩行者空間化
車両通行可能ルート
敷地～堤防道路～河川敷を一体活用することでエリアの魅力アップ
太陽の城跡地前面のみ歩行者空間化
太陽の城跡地
魅力的な施設の立地
生活者のアクセス確保
全ての敷地にアクセスできるようにする

④交通量調査

■ 通過交通

448台 / 558台 = 86.7%

558台 (74台) / 484台

■ 歩行者通行量

360人 (206人 / 154人)

②来場者アンケート

Q: 歩行者空間化についてどう思いますか？

とてもよい	65%
まあまあよい	24%
どちらともいえない	11%
あまりよくない	0%
よくない	0%

▲ Meguru Quruwa社会実験 来場者アンケート

■ 評価

・多くの来場者の好評を得た。
「とてもよい」「よい」あわせて **89%**

③地域住民アンケート

調査方法：回覧板にて配布 久後崎二区・明大寺本町第一町内会
堤防道路（乙川左岸南側 殿橋から踏切手前まで）を歩行者空間化することについて

この道路を歩行者専用にして、歩行者・自転車車が車を気にすることなく安心して通行できるようになった場合、問題があると思いますか？

問題なし：40% 理由：道路を歩く人も多く、道幅が狭く危険
問題あり：60% 理由：不便になる／アクセスできなくなる

■ 課題

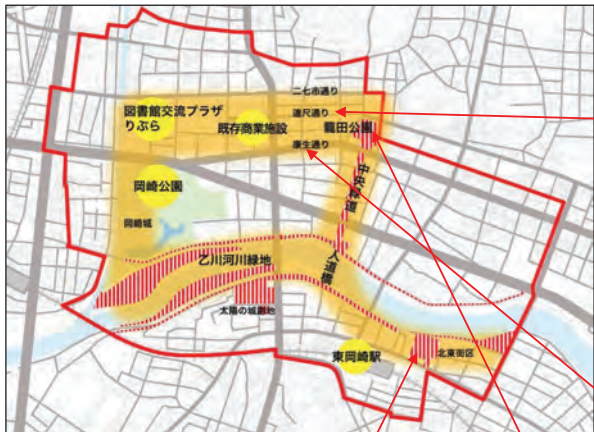
- ・歩行者空間化時の周辺居住者の交通アクセスの確保
- ・歩行者の安全確保

■ 解決方針

- ・堤防道路内の歩行者空間化エリアを縮小することで周辺住民の交通アクセスを確保する。
- ・集客が予想される敷地前は歩行者専用とすることで安全性を確保する。

▲ 地域住民アンケート結果

QURUWA回遊動線の魅力を高めていく



街路の魅力や価値を高める社会実験を実施

① 連尺通り



出典：OTOGWA PROJECT

【社会実験の実施概要】

- 実施主体：都市再生推進法人(株)三河家守舎
- 実施期間：2019/9/20(金)～11/24(日)
- 実施時間：午前10時～午後8時
- 活用箇所：歩道
- 実施内容：歩道の空間の一部を活用した営業行為やベンチ等の休憩施設等の設置

② 康生通り



【社会実験の実施概要】

- 実施主体：都市再生推進法人(株)まちづくり岡崎
- 実施期間：2019/10/8(火)～11/8(金)
- 実施時間：午前9時～午後8時
- 活用箇所：車道、歩道
- 実施内容：車道の一部を活用したパークレットなど休憩施設等の設置
歩道の一部を活用した営業行為やベンチ等の休憩施設等の設置

出典：グッとくるわ康生社会実験はじまります！！

整備完了拠点

北東街区



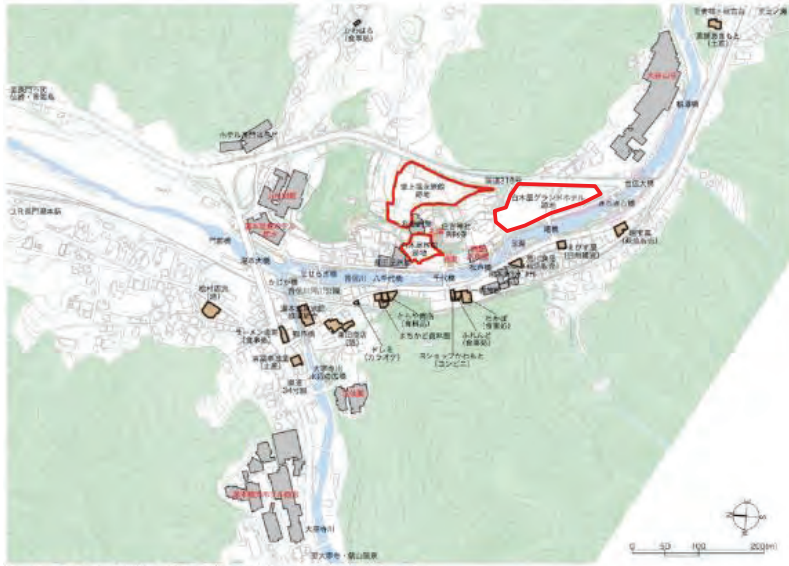
籠田公園



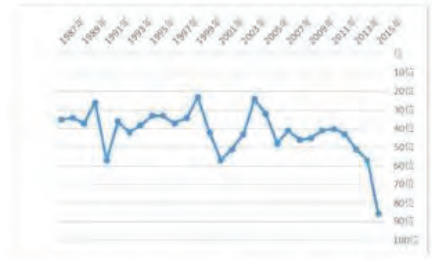
民間投資者のアイデアを受入れまちを改造 川と生きる温泉街の再生計画 長門湯本みらいプロジェクト



長門湯本温泉



湯本温泉地区の店舗と外来入浴が可能な温泉旅館及びホテル
(恩湯と礼湯を含めて外来入浴可は赤字で示した施設)



出典：2015にっぽんの温泉100選他（観光経済新聞社）
(以下「温泉ランキング」は同じ)



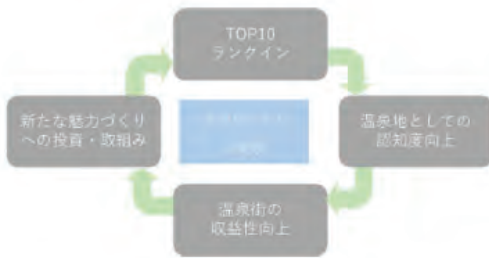
長門湯本温泉観光まちづくり計画

目標：全国10位以内を目指す

- ◆全国トップ10に入る人気温泉地となることを目指す。
- ◆これにより、継続的な魅力づくりが生まれる好循環が生まれる。



10位以内を目指す計画



タイプ3温泉地を目指す



人気温泉地並みの定員稼働率の実現を目指す

TOP10以内に入ることの効果予測

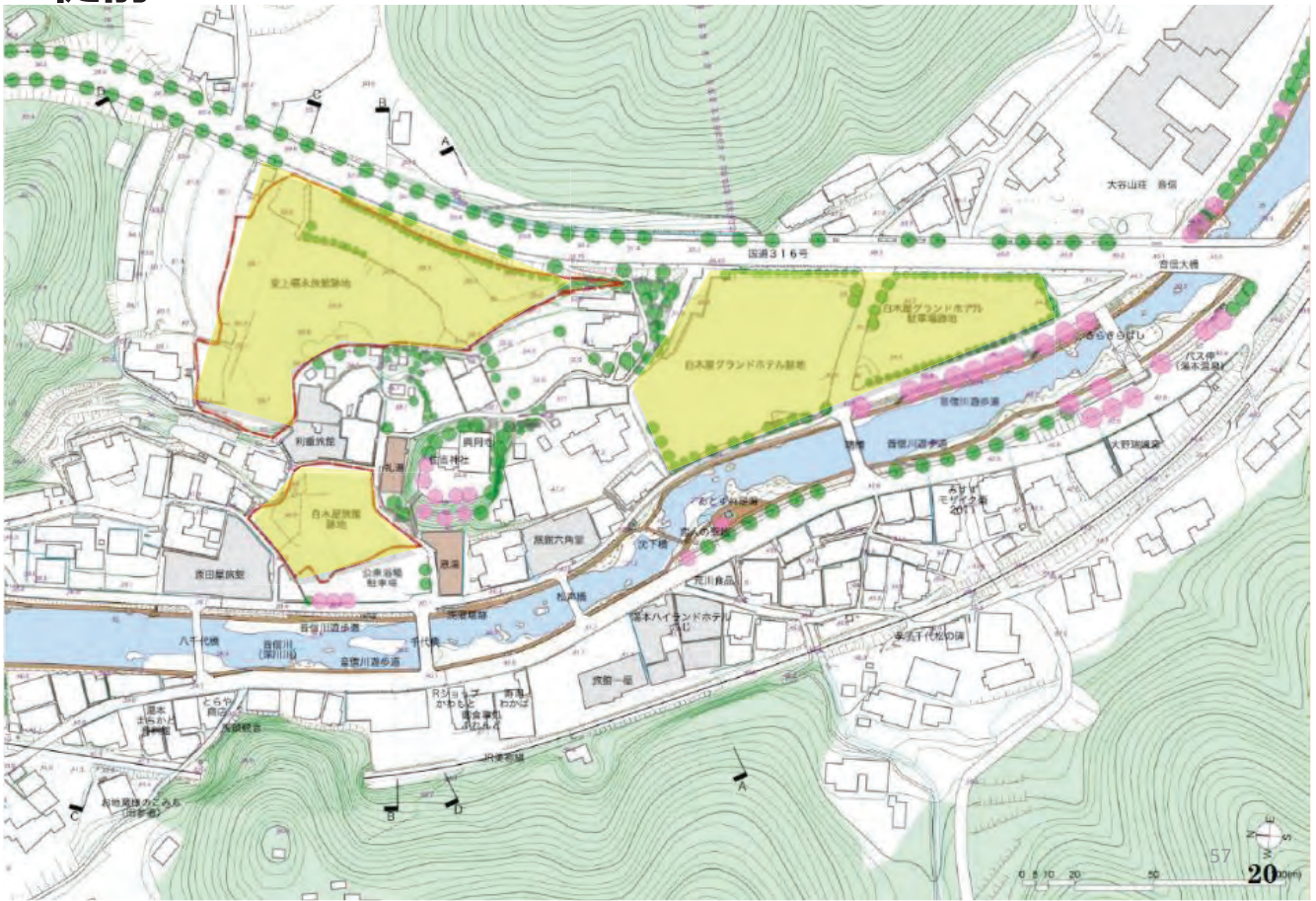
	宿泊者数	客室数	定員	定員稼働率
黒川温泉	29万人	521室	2,248人	35%
城崎温泉	59万人	1,267室	3,801人	42%
玉造温泉	64万人	886室	3,628人	48%
長門湯本 (現状)	18万人	734室	2,203人	22%
長門湯本 (目標)	33万人	784室	2,303人	40%

投資主体がマスタープランを提案し、行政が見合う公共投資

逆転の発想



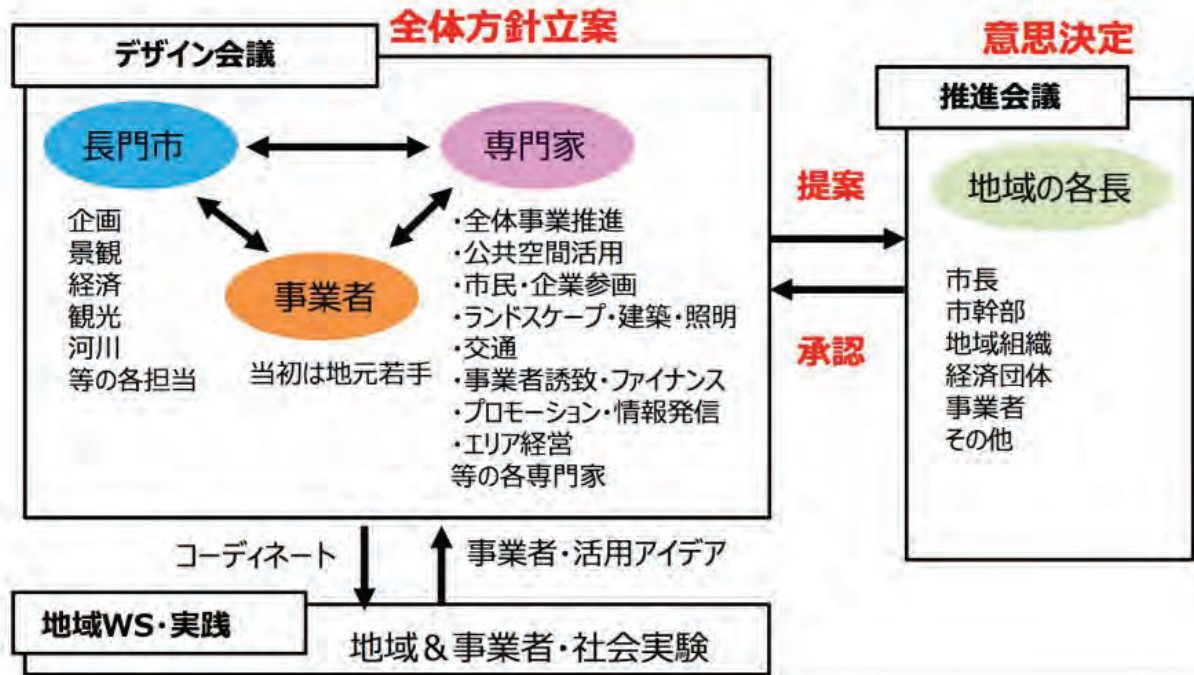
従前



長門湯本温泉観光まちづくり計画



- ◆ プロジェクトの推進に当たっては、
 デザイン会議：市及び専門家、地元の若手等によって構成される整備・活用計画の提案及び推進を行う組織
 推進会議：市長・地元の各長などによって構成される最終的な意思決定組織を分け、具体的かつ現実的な計画の立案とスムーズな意思決定を実現する。



59

行政

全体推進

建築・景観

ランドスケープ

夜間景観

観光まちづくり



専門家や地域への熱い想いと実行力を持った住民、最強の布陣でプロジェクト推進！



情報発信

外湯再生

交通

リノベ

金融

地元協議会